

# 海況速報

平成12年度 第1号 (通算 No.73)

平成12年5月22日

北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは  
中央水産試験場 海洋環境部  
Tel 0135-23-4020

海洋環境部ホームページでもごらんになれます。

アドレス：<http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kaiyou/index.htm>

今回は観測期間が長くなっております。一部3月下旬のデータを使用しています。また、今回より水温の平年差(累年平均(\*1)との差)を表にして掲載しました。各観測地点名は地図を参照してください。

## 3月下旬から4月下旬の海況

☆日本海海域

### 岩内沖に暖水渦

岩内西方沖に暖水渦(例えば200m層水温5℃以上)が見られます。岩内西方沖暖水渦は、前回2月に観測を実施できなかったため、渦発生の時期ははっきりしません。また、前回渡島半島西方にあった暖水渦は今回見えません。津軽半島西方沖にも暖水渦があります(例えば200m層水温9℃以上)。対馬暖流の主流は、これら暖水渦の西側の縁を流れ、津軽海峡付近と岩内西方沖で大きく西へ蛇行しているようです。

余市における3月中旬以降5月中旬までの沿岸水温(旬平均)は、平年値に比べ、「平年並み」から「やや低い」で推移しています。

☆道東太平洋海域

### 暖水塊居座る

前回(2月)に道東沖にあった暖水塊(中心:200m層7℃以上)は、北縁の位置はあまり変わらず(北緯42度)、中心位置が東へ移動し、東経146度付近にあります。また、北緯40度東経144度20分付近にも暖水塊があり、これら暖水塊の西の縁に沿って水温の高いところが、南西から北東へ向かって伸びています(例えば、50m層で10℃以上の部分)。50m層を見ると、根室半島から襟裳岬沖まで水温1℃以下の沿岸親潮(\*2)が道東沿岸に沿って流れています。

☆道南太平洋海域

### 津軽暖流沿岸モード

津軽暖流は沿岸モード(\*3)になっています。50m層以浅では、水温4℃以下の親潮系水が浦河沖から白老沖まで広く分布しています。

☆オホーツク海海域

### 宗谷暖流いまだ潜流

表面水温で3℃以上の海域は、宗谷海峡から浜頓別沖までとなっています。紋別沖、網走沖に2℃以上の海域があるものの、昨年同期(4月)と比較すると宗谷暖流の表面への流れ込みはやや遅く、まだ潜流のままのようです。

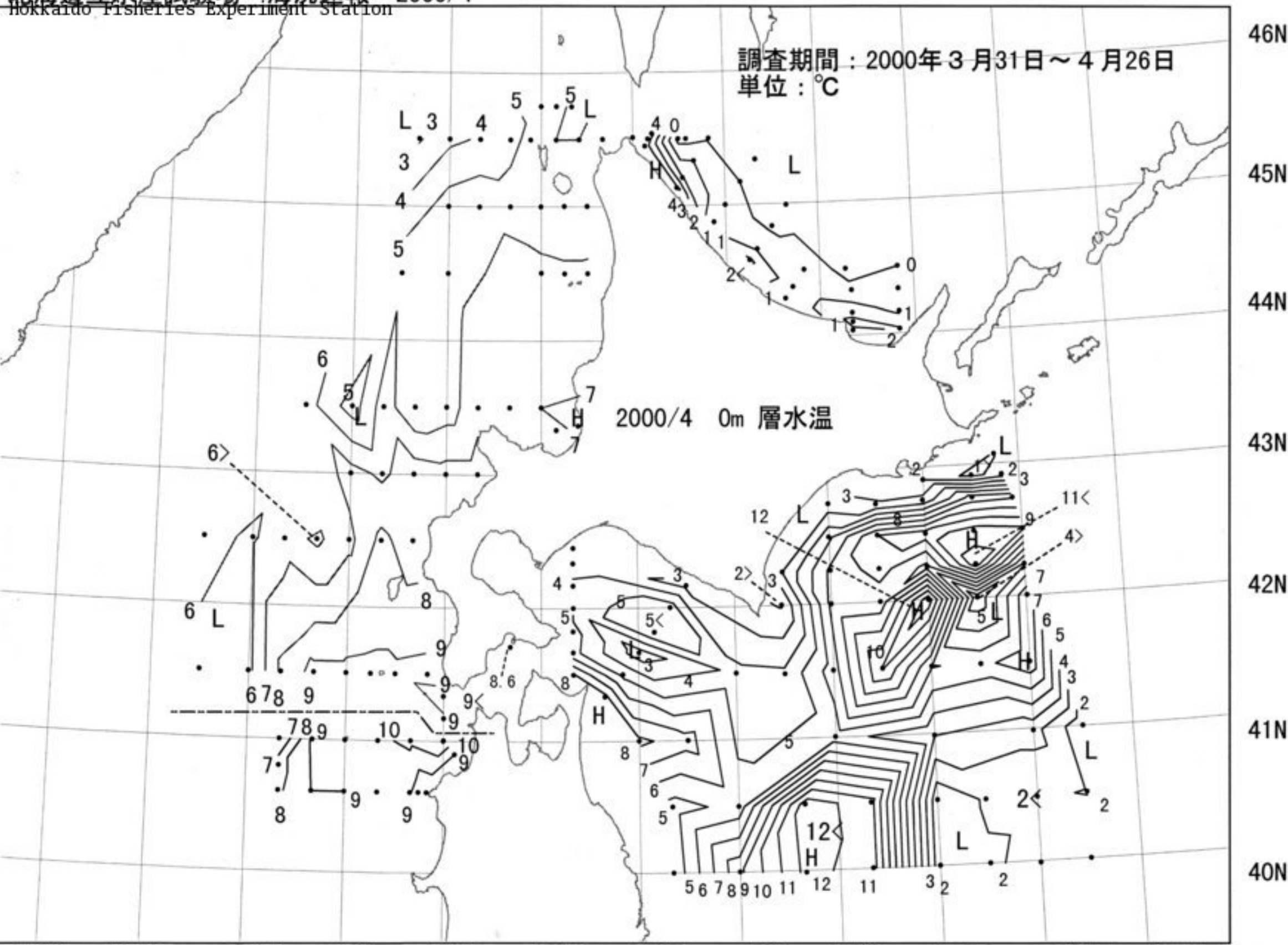
資料	観測期間	
青森水試（東奥丸）	平成 12 年 3 月 31 日から同 4 月 5 日	（東北日本海海域）
稚内・中央水試（北洋丸）	平成 12 年 4 月 10 日から同 4 月 14 日	（道北日本海・オホーツク海海域）
稚内水試（北洋丸）	平成 12 年 4 月 17 日から同 4 月 20 日	（道北日本海・オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	平成 12 年 4 月 18 日から同 4 月 24 日	（道南・道東太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	平成 12 年 4 月 18 日から同 4 月 23 日	（道西日本海・道南太平洋海域）

今回、金星丸（函館水試）は定期観測からはずれ、有珠火山噴火監視業務に対応しています。

- \* 1 : 平成元年(1989)～平成 11 年(1999)までの平均値を使用しました。
- \* 2 : オホーツク海の海氷の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
- \* 3 : 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。

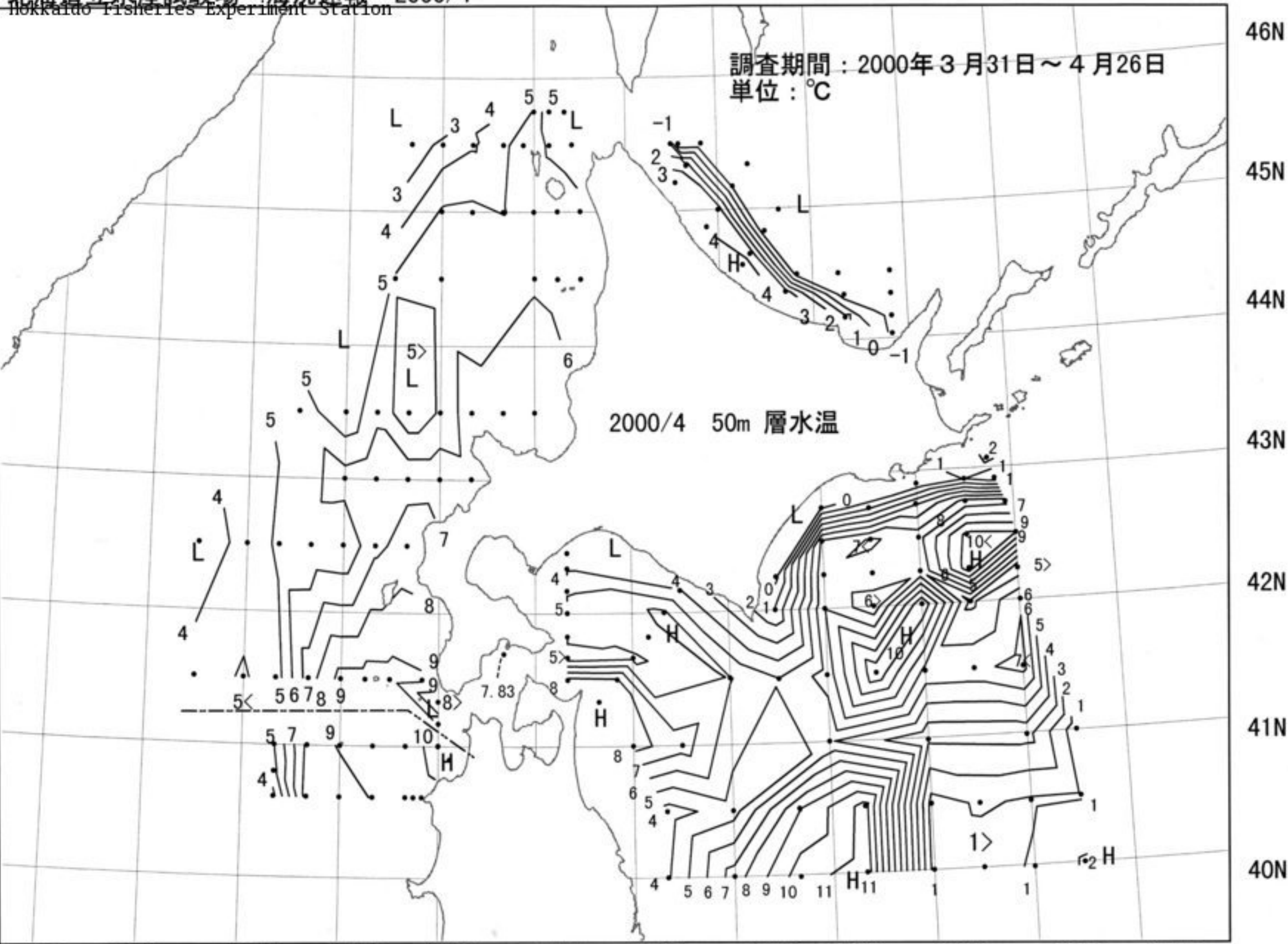
調査期間：2000年3月31日～4月26日  
単位：°C

2000/4 0m 層水温



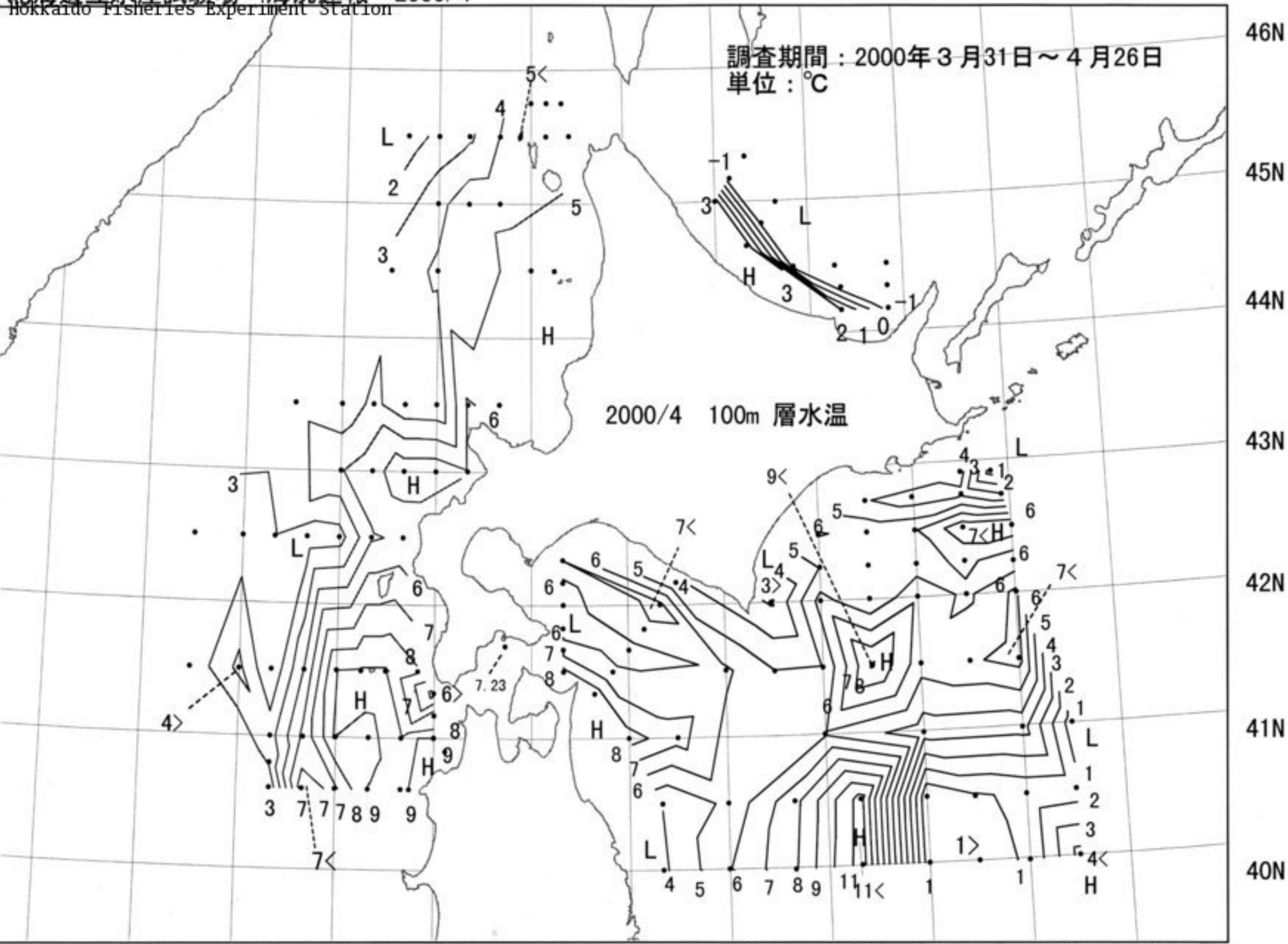
調査期間：2000年3月31日～4月26日  
単位：°C

2000/4 50m 層水温



調査期間：2000年3月31日～4月26日  
単位：°C

2000/4 100m 層水温





調査期間：2000年3月31日～4月26日  
単位：℃

2000/4 200m 層水温  
修正版 (2001/5)

